



Architects & Engineers

THINK EGG'S CONSTRUCTION

準防火地域で
耐震等級3を実現した
木造3階建て
耐震+制震住宅

柱の直下率を向上させることによって、梁のサイズや耐力壁の量を合理化。
高い耐震性を保ちながら、広々とした空間を実現

柱直下率（上階柱と一致する下階柱の割合）は高い数値ほど良質な架構計画であるといえますが、本建物では1-2階で85%、2-3階で75%という高い数値を実現しています。壁倍率3.9倍の高耐震壁「T・Nパネル」、床・屋根面材の留めつけには「ネダノット」を使用し、耐震等級3・耐風等級2（ともに最高等級）を確保しました。そのうえで、制震装置「V-RECS」を4ヶ所配置し、さらに地震に強い構造体としました。耐震性の高い建物というと、耐震壁が多い建物を想像しがちですが、2階の広いリビングの上に効果的に設けられた吹き抜け・大きな開口部などにより圧迫感のない開放的な空間を実現しています。

■ 建物の概要

設計・施工／株式会社田中工務店

建設地／東京都江東区

構造計算／東昭エンジニアリング株式会社（担当：関野淳）

完成時期／平成25年2月

工法等／木造軸組工法 地上3階建て 150.54㎡

その他／金物仕口工法：プレセッター（株式会社カネシン）

耐力壁：T・Nパネル（株式会社ニューホームシステム）

制震装置：V-RECS（株式会社カネシン）

